

いちき串木野市地域学校協働活動

学校応援団だより

～できることを できるときに できるところから～

No. 6-3(228)

＝みんなで支える学校 みんなで育てる学校＝

令和6年6月19日

いちき串木野市教育委員会 社会教育課

“羽島の海が大好き 海辺で遊ぼう” 羽島小学校



5月24日(金)、羽島小学校で「海辺で遊ぼう」があり、全校児童37名と海上保安庁や高齢者クラブ「はまゆう会」多数の参加がありました。羽島浜中漁港で海の清掃前に海上保安庁職員による寸劇が披露されました。海に浮遊するビニール袋を魚のアラカブ「カブカブ君」が食べ、お腹をこわすという内容でした。

「海をいつまでもきれいに」を願い、ゴミを捨ててはいけないことが子どもたちに伝わったと思います。ちなみにカブカブ君の正体は羽島小OBの平石さんでした。

海岸清掃の後、お待ちかねの「魚釣り」と「貝採り」が始まりました。

魚釣りは「はまゆう会」の方と高学年が堤防で釣りを楽しみ、アラカブがたくさん釣れました。「はまゆう会」の方が子どもたちに魚がいるポイントをアドバイスしている風景が印象的でした。「貝採り」は低学年がタイドプールにいる「ヤドカリ」や「カメノテ」を捕

ったり、黒いウミウシを触ったりして、小遠足気分の楽しい時間を過ごしました。

ジャンボタニシ捕り 照島小学校



5月30日(木)、照島小学校で「米づくり協力会」の方と田植え前にジャンボタニシを捕りました。子どもたちは田おこしされた田んぼでジャンボタニシを捕り、最終的にバケツいっぱいジャンボタニシを捕りました。中別府会長の話では、田んぼを作る人が少なくなり、この辺りは3人しか田植えしないとのこと。一斉にジャンボタニシを駆除しないと効果がうすいとのこと。

子どもたちは、田んぼにはいり、足をとられながら「はまっちゃった!」と言いながら、ジャンボタニシを捕っていました。橙色の卵は、「きしょい!」と言ってました

ジャンボタニシを捕った後、田んぼで「ドッチボール」や「かけっこ」をしました。

梅雨前の田んぼに、子どもたちの喜びに満ちた声が響き渡りました。

【学校支援ボランティア】を募集しています

皆さんの経験豊富な知識を地域活動に生かしてみませんか

* 本活動は「高齢者元気度アップ・ポイント事業」の対象事業です。貯まったポイントは地域商品券と交換できます。詳しくは下記担当までご連絡ください。

連絡先＝市来庁舎3階 市教育委員会 社会教育課
(TEL 21-5128) (FAX 36-5044) / ご意見・ご質問・ご相談も下さい
地域学校支援コーディネーター (有元 操・藤崎 裕史)

* 本応援団だよりは右のQRコードを読み取り、カラー版でご覧頂けます。また、市立図書館(本館)掲示板上にも張り出しております。

